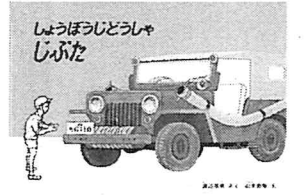


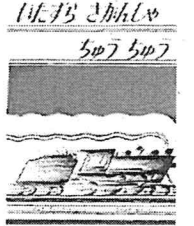


日	月	火	水	木	金	土
					1	2 おはどん
			11がつ			
3	4	5 休館日	6 おはすい	7	8	9 おはどん
10 11じ ちびおは	11 休館日	12	13 おはすい	14	15	16 おはどん
17	18 休館日	19	20 おはすい	21	22	23 おはどん
24	25 休館日	26	27 おはちび おはすい	28	29	30 すがたり おはなし会
休館日：毎週月曜日（祝祭日が重なった場合は翌日） 開館時間：平日 9：30～19：00 休日 9：30～17：00						

のりもののほん



『しょうぼうじどうしゃじぶた』 渡辺茂男さく
山本忠敬え 福音館書店



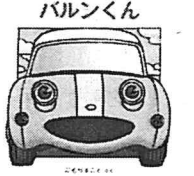
『いたずらきかんしゃちゆうちゆう』 バートン
福音館書店



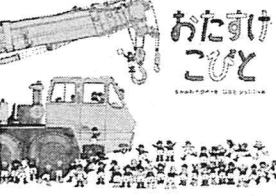
『ぴんぼんバス』
竹下文子ぶん 鈴木まもる絵
偕成社



『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸
福音館書店



『ばるんくん』
こもりまこと 福音館書店



『おたすけこびと』
なががわちひろ文 コヨセ・ジュンジ絵 徳間書店

冬のおはなし会

12月7日(土)・8日(日) 10:30～
フラックライトを使った『まっくろネリノ』他、
ペープサート、大型絵本など
おはなし会終了後に紙コップツリーづくりもあるよ。

2019 冬のおはなし会
～おはなしポケットからみんなへプレゼント～
とき 12月7(土)・8(日)
おはなし会 10:30～11:00
工作タイム 11:00～11:30
☆工作タイムには 紙コップで
かわいいクリスマスツリーもつくります
かゆいクリスマスツリーもつくります
場所 鶴岡市立図書館 2F 講座室
・まっくろネリノ (フラックパネル)
・みえないおくりもの
大型絵本やペープサートを
使ったおはなしもあります
たいへん混雑しますので
お楽しみ合のせの上、ご来館ください
鶴岡市立図書館
鶴岡市夜半新町14-7

おはなし会のあんない

毎週土よう日 **おはどん**
ごご3じ～3じ30ぷん
第5土よう日はすがたりおはなし会

第4水よう日 **おはちび**
第2日よう日
ごぜん11じ～11じ30ぷん
☆0～1さい向けのおはなし会
♪てあそび、わらべうたなど

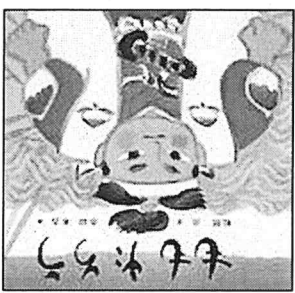
毎週水よう日 **おはすい**
ごご4じ～4じ30ぷん

1かいのおはなしコーナーで
行います。出入り自由。
スタンプカードもあります。



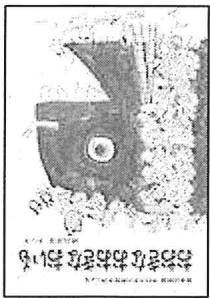
「だいやくのいち」
松居直再話
赤羽末吉絵
福音館書店
1962年

毎年秋になると、隣の保育園から焼きイモを頂戴します。図書館の落ち葉も使っていたので、お礼にと言っておきます。今年も、ほかほかの美味しい焼きイモを届けてくださいました。
そこで、今月の絵本は『おきなおきなおき』(市村久子作 赤羽末吉絵 福音館書店 1972年刊)を紹介いたします。長寿の本の紹介が多くてすみませんが、食欲の秋にこの一冊を。
あおぞら幼稚園のいもほり遠足が、雨で一週間延期になりました。子どもたちは、とつてもがっかり。「つまらない、つまらない、つままない。」そこで、先生が言いました。「おきものはね、1つ寝るとむくとおおきくなって、ふたつ寝るとむくむくもっと大きくなって、ななつ寝るといっぱい大きくなつて待っていてくれるよ。」子どもたちの頭の中でおきものはどんどん大きくなります。「せんせいのおきかから かみちよたい えのちよたい ふでちよたい。」子どもたちは紙を貼り合わせて、おきなおきなおきなおきを描きます。できた絵は、本のページからはみ出して、なんと見開き6ページ、本のページからはみ出して、読んで下さい。



「もちのうち」
松居直再話
赤羽末吉絵
福音館書店
1965年

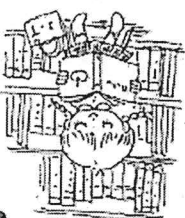
一ツ、あわせて14ページにわたって描かれていすか。想像はどんどん広がって、どうやって掘り出すか。園にはどうやって持って帰るのか。どんなふうに遊ぶか。最後はみんなでおなかがいっぱい食べ、おなかポーンになって、おならで空まで飛び上がってしまいます。
今から20年ほど前に作者の市村さんが図書館で講演をしてくださったことがありますが、内容のほとんどが、園で実際にあったことだそうです。長い長い紙に描かれたおイモの絵も見せていただきました。子どもたちの想像力と創造力からきて本だということをお話してくださいました。
絵は赤羽末吉さん。色は、黒とサツマイモ色の2色。描かれている先生と子どもたちは、紙人形のような絵です。でも、この絵が、子どもたちの想像力をかきたてますし、主役のおきなおきなおきなおきもかから かみちよたい えのちよたい ふでちよたい。」子どもたちは紙を貼り合わせて、おきなおきなおきなおきを描きます。できた絵は、本のページからはみ出して、読んで下さい。



「あきな あきな あき」
市村久子作
赤羽末吉絵
福音館書店
1972年

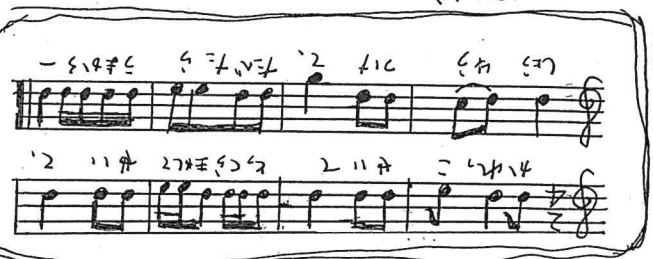
館長の

こども室の本棚から

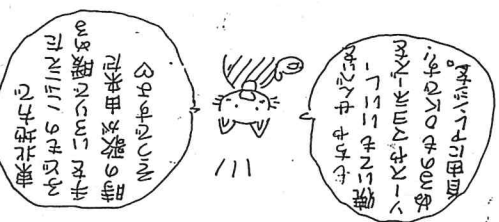


〜てあそび・くらべたよてあそび〜

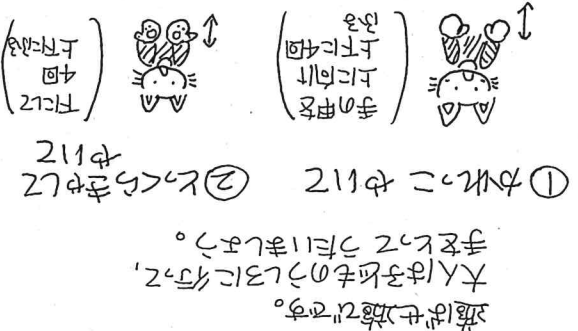
『あきな あきな あき』
= 14ページ



引用文献: 『新訂 わんわんたてあそび』年少編
コトブキ美術教育研究所(著)



③ 2ページ-7ページ
④ 7ページから3ページ



① あきな あきな あき
② くらべあそび

遊ばせ遊びです。
大人は子どもと一緒に遊ぶ、
手をとりあそびましょう。

ポプラ社

しゅっぱんしや

松谷みよ子作 / 瀬川康男絵

かいたひと

やまんばのにしき



やまんばのにしき

おはなしポケット ゆかぼん

「ちやうふくやまのやまんばがこどもんで、もちついてこ。」
村に響いた大声に、人々は大騒ぎ。さっそく餅をついたが、届ける人がいない。結局若者二人と、案内役の「あかさばんば」がいっしょにいったが、若者は逃げてしまいあかさばんばは一人やまんばの家に向かうことに...
歯切れのいい文章と味のある絵が印象的な各作です。あかさばんばの勇氣には感服します。やまんばと赤ん坊はとにかく爽快。巻末の『うかたとやまんば』の恐ろしいやまんばとは全く雰囲気異なります。
しかしやまんばも、産後は餅が食べたくなるし足もむくむく、床上げまで3週間なんですね...